



★ 今、大切なこと

新入生の皆さん、5月7日から泉北の丘で、新しい高校生活が始まる予定でしたが、新型コロナウイルスによる非常事態措置の延期の結果、入学式はさらに延期されました。今日こそは、勉強に、クラブ活動に、体育祭や文化祭などの学校行事に、ボランティア活動に、泉北生として、友人や先輩、そして教員とともに、協働していきましょうと言いたかったのですが、学校の年間行事も一から見直しになっています。長い休校措置が続いていますが、今一番大切なことは、君たちが必ず始まる新しい高校生活に慣れ、前を向いて進んでくれることです。

この数か月の非日常の騒ぎの中で、君たちのストレスは高まっていると思われまます。家族の誰かに当たったり、頭痛や不眠症、さらに昼夜逆転になっていませんか。新入生の皆さんは、突然の休校発表に驚き出願・入試と緊張した第1期、合格発表から予定された入学式の日までの期待と不安の第2期、そして今は新しい状況に適応せざるを得ない第3期に入ったと言われています。今できることを、今精一杯やろうとして下さい。

なお次回の登校日初日に、持ってくるものは？

(まだの人は必ず)就学支援金の封筒・スポーツ振興・誓約書・確認書・情報ネットワーク・雑巾4枚

+各教科からの宿題と、学び未来パスのマークシート解答用紙5枚(必ずすべてに、氏名を書くこと)

休校延長 の今だから、やろう!

(Please Never Waste a Good Crisis)

①本を読もう～時間が出来たらと、後回しにしていた読書を、この時期に精一杯しましょう。本は、君たちの人生を豊かに変え創造力を育ててくれます。本でなくても文字に触れることは大切です。新聞や雑誌、好きな曲の歌詞を眺め、感性を磨いて下さい。著者は、今、中島みゆきの曲にハマっています。タイトルの POPULUS の下段にある言葉は、彼女の作った歌詞から引用したものです。先行きの見えな時代ですが、若い君たちは私たちの希望であり、私たちを勇気づけてくれる存在です。文字は、私たちに光を与えてくれます。



②語学の勉強をしよう～語学を学ぶ意義は、様々なところで様々な説明がされています。語学を学ぶことによって、私たちは新しい文化を知り、自分自身の文化を外側から見る事が出来、自分たちのアイデンティとすべての多文化を大切にしたいと思えます。例えば、夜空に無数に輝く点の一つを、「ほし」と発音した日本人、そこには儂くて消えゆく寂寥感が流れています。しかしアングロサクソン人は、「すたあ」と讚えます。光線は逆に勢いをまし、光り輝くものになっていきます。そしてその影も深く。一方フランス人は「エトワール」と呟きます。女性名詞ですが、なんとなく優雅でロマンチックな香りと満たされた感じがします。このように語学を学ぶことによって、私たちは今までと違う考え方や、ひらめき、捉え方ができるようになります。一度しかない人生に新しいもう一つの世界が広がること、生きていくことが楽しくなると思えます。ただ語学学習に共通して言えることは、一朝一夕には身に付かない、努力と根気と、慣れ親しむこと、そして時間が必要なことです。だから今がチャンスですね。

③人にやさしくしよう～ステイホーム、在宅の時間がたっぷりある今だからこそ、それぞれが家庭でどんな役割を果たせるか考えてみて下さい。室内の掃除や、ペットの世話、家族のための食事作りやお菓子作り、田舎に祖父母がおられれば、テレビ電話で近況を報告することも喜ばれます。人にやさしくなれば、自分の心が癒され、どんなことも冷静に判断できるようになります。逆に誰かを攻撃したり、心無い言葉を発するようになれば、自分自身が荒んでいきます。どんな困難の中でも、自分らしさと誇りをもって乗り越えていくことが一番大切なことです。規則正しく堅実にできることが目標ですが、今は出来なくても大丈夫です。とにかく誰かとつながって、心のより所、ホッとする場を見つけましょう。そして、「ありがとう」の言葉を忘れずに。

1年の進路指導部からは、これから始まる1年間の予定と、保護者の皆様に来校して頂く行事等の案内を、まずお知らせしたいのですが、まだまだ不確定なことが多いので、決まり次第お知らせします。なお英語検定については、次のような日程になっています。

★英語検定について(日程については変更があるかもしれません。計画的に受験してスキルアップしていきましょう。)

	受付	一次	二次
第1回 ～日程が変更	3月13日～4月28日	6月28日(日) 本会場	8月23日(日) 本会場
第2回	8月3日～9月10日	10月3日(土) 校内受験	11月8日(日)

# { キャリアパスポートとは? }

新入生の皆さんには、4月2日にスタディサプリというソフトに登録をお願いしました。泉北高校ではこの電子データ(無料)に君たちの高校生活の記録を綴ってもらい、そのデータをもとに教師が対話的な関わりをすることによって、君たちが自らの存在価値を感じたり、自分を見つめ直すこと、さらに未来に向かって力強く歩んでくれることを目標としています。これは、文部科学省が、今年の4月から、全国すべての小学校・中学校・高校に導入を義務づけているものです。



学習指導要領には、次のように記載されています。

## ・「キャリア・パスポート」の目的

小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につながるもの。教師にとっては、その記述をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの。

## ・「キャリア・パスポート」の定義

「キャリア・パスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことである。なお、その記述や自己評価の指導にあたっては、教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげながら、学校、家庭及び地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努めなければならない



.....  
 ・さらに、「キャリア・パスポート」は小学校入学から高校卒業まで、学年や校種を越えて持ち上がるものとなるため、次のような基本の形式が提示されています。 ★各シートはA4判(両面使用可)に統一 ★各学年での蓄積は数ページ(5枚以内)とする

## 大学入試との関係は?

今、大学入試の型は、一般選抜(今までの筆記試験の一般入試)と、総合型選抜(今までのAO入試で大学が求める学生像と受験生を照らし合わせて合否を判定する制度)、学校推薦型選抜(指定校推薦と公募制推薦)の3つに分かれます。一般選抜は、今や国公立大学で約7~8割、私立大学で約5割前後で、1回のテストだけでは計れないその人の本来の能力を評価し伸ばそうという流れに進んでいます。このような背景には、変化の激しい今後のAI社会やグローバル化社会、さらに様々な試練や危機が予想される中で、生涯にわたって学び続ける力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢が求められているからです。そのためには、1点刻みのペーパー試験ではなく、子供たちのすべての学習成果とそれに至るまでの過程が大切だということです。つまりこの「キャリア・パスポート」を、大学入試にも就職活動にも活用していく方針です。ですから、とっても大切な内容であることは、分かりますね。

ただしこの評価には、多くの問題点が指摘されています。例えば、勉強以外のクラブ活動やボランティア活動、資格や検定が大学入試の評価になることは、生徒たちにとって大きなプレッシャーです。また様々な学習の記録をこまめに管理し作成することは、一部の生徒にとって大きな負担とも言えます。さらに学力以外で華やかなアピールポイントをたくさん作ることが出来る人は、経済的に豊かな生徒であるという指摘があります。

以上のような現況を踏まえ、「キャリア・パスポート」はこの4月から全国のすべての学校で始まっている訳です。

### (参考)

小学校では、「アンケートやポートフォリオ等」の実施を全体計画に盛り込んでいる学校は、盛り込んでいない学校に比べて「児童・生徒は自己の生き方や進路を真剣に考えている」という割合が30%以上多い結果につながっています。

